



2025年3月28日

各位

会社名 株式会社トヨコー
代表者名 代表取締役 CEO 豊澤 一晃
(コード番号:341A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 白井 元
(TEL. 0545-53-1045)

東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2025年3月28日に東京証券取引所グロース市場に上場致しました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2025年3月期（2024年4月1日から2025年3月31日）における当社の業績予想は、次の通りであります。また、最近の決算情報等につきまして別添の通りであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2025年3月期 (予想)		2025年3月期 第3四半期累計期間 (実績)		2024年3月期 (実績)		
		対売上高 比率	対前期 増減率	対売上高 比率	対売上高 比率			
売上高		1,891	100.0	72.7	1,538	100.0	1,095	100.0
営業利益又は 営業損失(△)		184	9.8	—	264	17.2	△189	—
経常利益又は 経常損失(△)		165	8.7	—	247	16.1	△157	—
当期(四半期)純利益 又は当期純損失(△)		161	8.5	—	268	17.5	△158	—
1株当たり当期(四半期) 純利益又は1株当たり 当期純損失(△)		13円60銭		22円83銭		△15円26銭		
1株当たり配当金		0円00銭		—		0円00銭		

- (注) 1. 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。
2. 2024年3月期(実績)及び2025年3月期第3四半期累計期間(実績)の1株当たり当期(四半期)純利益又は純損失は、期中平均発行済株式数により算定しております。
3. 2025年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数(1,000,000株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資分(最大555,000株)を考慮しておりません。
4. 2024年11月30日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期(四半期)純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。

【2025年3月期業績予想の前提条件】

1. 当社全体の見通し

当社は「キレイに、未来へ」をミッションとし、独自技術でインフラメンテナンス現場の「3K（キツイ、汚い、危険）を3C（Cool、Clean、Creative）に」変え、老朽化した工場や倉庫、橋梁や鉄塔などの社会インフラ構造物を、より永く、キレイに子や孫の世代へ受け継いでいく SOSEI（ソセイ）事業と CoolLaser（クーラーザー）事業を展開しており、インフラメンテナンスを通じて循環型社会の実現に貢献して参ります。

SOSEI 事業は、瞬間硬化する特殊な樹脂を老朽化した屋根上に吹き付け補強する独自工法を発注者である施工対象の工場や建物の所有者に対し、工事役務を提供しております(特許第 7332142 号、第 6815548 号)。1 層目に断熱効果のあるウレタンフォームを吹く事で、夏場の屋根裏温度が最大 20℃程度低下するため、空調の効率化を通じて電気代や CO2 排出量が削減し、脱炭素化の時代に相応しい工法となっております。

CoolLaser 事業は、これまで工場内部で切断工程や溶接工程に使われていた高出力レーザーをクリーニング用途に応用し、橋梁や鉄塔などの分厚いサビ・塗膜除去を行う事ができる高出力サビ取りレーザー施工装置「CoolLaser」を独自開発し、主に①橋梁分野(道路・鉄道)、②鉄塔分野(通信・送電)、③海事(海運・ドック)、④その他(プラント・保管)という4つの重点分野のインフラオーナーやインフラメンテナンスを担う工事会社向けに、装置の製造販売や消耗品・保守サービスの提供、試験施工を中心とした施工売上を提供しております。「レーザー光の円形照射による対象物(サビ・塗膜)の除去」を日米で権利化するなど複数の特許技術を元に、5.4kW の高出力化に成功しており、表面処理の品質や施工スピードの速さの観点から、この工法のフロントランナーとして確固たる優位性を築いております(特許第 5574354 号、US-9868179)。

橋梁の耐用年数は 50 年(※1)とされるなか、道路橋は我が国に 73 万橋(※2)あります。このうち建設後 50 年以上経過するものは 2020 年 3 月時点で全体の約 30%ですが、2040 年 3 月時点では約 75%と年々増加すると予想されており(※3)、インフラメンテナンスの需要は高まってくると考えております。一方、建設業の就業者数は 1997 年の 685 万人をピークに、2023 年はピーク時比 70.5%の 483 万人と担い手の数は年々減少が続いています(※4)。限られた労働力でインフラを維持管理していくには、工事の省人化や、一回当たりのメンテナンス間隔を長められる新たなテクノロジーが待ち望まれています。

このような状況のもと、2025 年 3 月期の業績は、12 月までは実績値、1 月以降はそれまでの実績を勘案して立て直した見通しとして、売上高 1,891 百万円(前期比 72.7%増)、営業利益 184 百万円(前期は営業損失 189 百万円)、経常利益 165 百万円(前期は経常損失 157 百万円)、当期純利益 161 百万円(前期は当期純損失 158 百万円)を見込んでおります。

(※1) 出所：減価償却資産の耐用年数等に関する大蔵省令

(※2) 出所：国土交通省「道路統計調査(2022.3)」

(※3) 出所：2023 年 10 月国土交通省「新たな暮らし方に適応したインフラマネジメント～インフラ集約・再編の推進に向けて～」

(※4) 出所：一般社団法人日本建設業連合会 HP>建設業の現状>4. 建設労働(2024.5月更新版)

2. 項目別の見通し

(1) 売上高

(SOSEI 事業)

SOSEI 事業の売上高は請負売上高であり、工事進行基準を適用しています。そのため、顧客別の請負金額に、契約開始見込月からの毎月の予想工事進捗率を乗じる事で、予想売上高を算定しています。第 3 四半期累計期間までの売上高 1,221 百万円は実績、第 4 四半期会計期間の見通し 255 百万円のうち 218 百万円は受注済、37 百万円は受注見込であり、2025 年 3 月期の売上高は 1,477 百万円(前期比 39.6%増)を見込んでおります。前期比増加見込額 418 百万円のうち、219 百万円は前年から継続する 1 つの案件で増加したものであり、売上高の増加に寄与しております。

(CoolLaser 事業)

CoolLaser 事業では、自社で製造した CoolLaser の装置販売(①装置売上)と、これに付随した保守サービスの提供や消耗品の販売(②保守・消耗品売上)及び CoolLaser の装置を用いて自社で短期間の試験施工の提供(③施工売上)を行っております。

① 装置売上

CoolLaser の標準的な装置販売に係るリードタイムは、受注後約6ヶ月納品となっております。このため、受注済の分については、受注台数に受注単価を乗じる事で、未受注分については、今後の予想受注台数に、予想受注単価（1台当たり1億円程度）を乗じる事で、予想売上高を算定しています。2023年2月にCoolLaser初の市販モデルを発表し、製品の改良開発のために初号機納品までのリードタイムは1年超の期間を設け、2024年9月より初号機の納品を開始している事から、当期より装置売上が計上開始しております。納品開始の初年度である当期は、計4台の納品を予定しております。この内3台分の292百万円は第3四半期累計期間までに納品済です。残り1台の97百万円は第4四半期会計期間の納品を予定しており、受注済です。この結果、2025年3月期の売上高は389百万円（前期は計上なし）を見込んでおります。

②保守・消耗品売上

CoolLaserの装置を稼働すると一定の期間ごとに部品の交換が必要になります。また、光学製品であるCoolLaserは、装置販売後一定の期間ごとに保守メンテナンスの必要があります。保守売上は、予想累計納入装置台数に、一台当たりの予想保守サービス額を乗じて算定しております。消耗品売上は、予想累計納入装置台数に、一台当たりの予想消耗品販売額を乗じて算定しております。第3四半期累計期間までに5百万円分を納品済であり、第4四半期会計期間に1百万円を受注見込です。この結果、2025年3月期の売上高は6百万円（前期は計上なし）を見込んでおります。

③施工売上

当社は自社で施工メンバーを有しておらず、施工の引き合いがあった場合は、協力会社に施工を依頼しております。当社は全国の塗装工事会社との協業を重視しており、積極的に施工売上の増加を見込んでおりません。このため、施工売上については過年度の実績を踏まえて、おおよそ工事が行われるであろう時期や規模を予想し、予想売上高を算定しています。第3四半期累計期間までに18百万円分を役務提供済であり、2025年3月期の売上高は18百万円（前期比48.4%減）の売上高を見込んでおります。施工売上が前期比で減少する理由は、当期よりCoolLaserの製品販売を開始した事で、当社は装置メーカーとして製品の開発・製造・販売に経営資源を集中させ、施工については装置ユーザーであるインフラオーナーや、インフラメンテナンスを担う工事会社に担って頂く事を重視しているためであります。

上記の結果、CoolLaser事業全体で2025年3月期の売上高は414百万円（前期比1,028.2%増）の売上高を見込んでおります。

(2) 売上原価、売上総利益

2025年3月期の売上原価は1,098百万円（前期比39.1%増）を見込んでおります。事業別の主な科目別の策定根拠は以下の通りです。

(SOSEI事業)

材料費：第3四半期累計期間までの発生額284百万円に、第3四半期累計期間の材料費率を、第4四半期会計期間の売上計画値に乗じて算定した見通し額を加える事で算定しております。

労務費：第3四半期累計期間までの発生額58百万円に、2024年12月度の労務費を、第4四半期会計期間の施工に従事する予想人員数12名に乗じて算定した見通し額を加える事で算定しております。

外注費：第3四半期累計期間までの発生額239百万円に、第3四半期累計期間の外注費率を、第4四半期会計期間の売上計画値に乗じて算定した見通し額を加える事で算定しております。

(CoolLaser事業)

材料費：第3四半期累計期間までの発生額247百万円に、第4四半期会計期間の装置売上の計画台数に1台当たりの製造に使用する材料費を乗じて算定した見通し額を加える事で算定しております。

以上の結果、2025年3月期の売上総利益は793百万円（前期比159.5%増）を見込んでおります。

（3）販売費及び一般管理費、営業利益

2025年3月期の販売費及び一般管理費は608百万円（前期比23.0%増）を見込んでおります。これは、第3四半期累計期間までの発生額400百万円に、第4四半期会計期間の見通し額208百万円を加える事で算定しております。第4四半期会計期間の見通し額のうち、毎月定常的に発生する費用以外の主な費用は、上場準備費用31百万円、賞与（業績賞与）見込額18百万円、租税公課（外形標準課税）18百万円、広告宣伝費（HPリニューアル費用）8百万円、上記合計：77百万円となります。

その他の毎月定常的に発生する主な科目別の策定根拠は、以下の通りです。

人件費（正社員・パート分）：第3四半期累計期間までの発生額92百万円に、2024年12月度の一人当たり給与を、第4四半期会計期間の販管部門の見込人員数15名に乗じる事で算定した見通し額を加える事で算定しております。

研究開発費：第3四半期累計期間までの発生額119百万円に、2024年12月度の一人当たり給与を、第4四半期会計期間の開発部門の見込人員数12名に乗じる事で算定した見通し額を加える事で算定しております。

支払手数料：第3四半期累計期間までの発生額80百万円に、第4四半期会計期間の見通し額34百万円を加える事で算定しております。

以上の結果、2025年3月期の営業利益は184百万円（前期は営業損失189百万円）を見込んでおります。

（4）営業外損益、経常利益

営業外損益は、主に営業外費用として資金調達に係るアドバイザーフィーとして10百万円及び支払利息12百万円を見込んでおります。以上の結果、2025年3月期の経常利益は165百万円（前期は経常損失157百万円）を見込んでおります。

（5）特別損益、当期純利益

特別損益は、見込んでおりません。

以上の結果、2025年3月期の当期純利益は161百万円（前期は当期純損失158百万円）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合がございます。

以上



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年3月28日

上場会社名 株式会社トヨコー 上場取引所 東
コード番号 341A URL <http://www.toyokoh.com>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 豊澤 一晃
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 白井 元 (TEL) (0545) 53-1045
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	1,538	—	264	—	247	—	268	—
2024年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	22.83	—
2024年3月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、2024年3月期第3四半期について四半期財務諸表を作成していないため、2024年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2025年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
3. 当社は、2024年11月30日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。当第3四半期累計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	3,068	1,306	42.6
2024年3月期	1,920	328	17.1

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 1,306百万円 2024年3月期 328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,891	72.7	184	—	165	—	161	—	13.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	12,026,600株	2024年3月期	11,012,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	—株	2024年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	11,778,605株	2024年3月期3Q	—株

(注) 当社は、2024年11月30日付で普通株式1株につき5株の株式分割を行いました。2024年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善による景気の緩やかな持ち直しが続いている一方、世界的な原材料価格の高止まりや金融引き締め等による景気後退懸念など、依然として取り巻く環境は厳しく、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、SOSEI事業は製造業の国内生産設備への改修ニーズの高まりもあり、既存顧客からのリピート案件に加え、新規顧客向けの大型案件により売上高が向上しております。

CoolLaser事業においては、初の市販モデル「CoolLaser G19-6000シリーズ」の納品が2024年9月より開始し、建機レンタル大手や大手電力グループ会社向け装置納入に至っております。この他、来年度以降に向けた複数の商談を行っております。

この結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,538百万円、営業利益は264百万円、経常利益は247百万円、四半期純利益は268百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①SOSEI事業

売上高は1,221百万円、セグメント利益は446百万円となりました。

②CoolLaser事業

売上高は316百万円、セグメント損失は52百万円となりました。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末と比べて732百万円増加し、2,060百万円（前事業年度末比55.2%増）となりました。主な要因は、第三者割当増資等により現金及び預金が567百万円増加したこと等によるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて415百万円増加し、1,008百万円（前事業年度末比70.0%増）となりました。主な要因は、機械及び装置の購入・倉庫改修工事・浜松研究所新規購入等により有形固定資産が374百万円増加したこと及び、繰越欠損金の回収可能額により、繰延税金資産が21百万円増加したこと等によるものです。

その結果、総資産は、前事業年度末と比べて1,148百万円増加し、3,068百万円（前事業年度末比59.8%増）となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末と比べて15百万円減少し、328百万円（前事業年度末比4.6%減）となりました。主な要因は、三菱UFJ銀行から融資を受けた元金返済により短期借入金が50百万円減少したこと等によるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて185百万円増加し、1,433百万円（前事業年度末比14.9%増）となりました。主な要因は、みずほ銀行から融資を受けたことにより、長期借入金が198百万円増加したこと等によるものです。

その結果、負債合計は、前事業年度末と比べて169百万円増加し、1,761百万円（前事業年度末比10.7%増）となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末と比べて978百万円増加し、1,306百万円（前事業年度末比297.9%増）となりました。主な要因は、第三者割当増資により資本金が354百万円、資本剰余金が354百万円増加したこと、減資により資本金が434百万円、資本準備金が113百万円減少し資本剰余金が547百万円増加したこと、資本剰余金から利益剰余金への欠損填補により資本剰余金が547百万円減少し利益剰余金が547百万円増加したこと、四半期純利益の計上により利益剰余金が268百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の業績予想については、本日開示いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。なお、当該業績予想は、当社が本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	797,652	1,365,063
受取手形及び売掛金	65,385	306,782
完成工事未収入金	358,443	264,013
商品及び製品	—	8,125
仕掛品	—	65,724
原材料及び貯蔵品	87,517	39,232
その他	18,245	11,298
流動資産合計	1,327,243	2,060,239
固定資産		
有形固定資産	166,096	540,192
投資その他の資産		
投資有価証券	421,070	420,706
繰延税金資産	—	21,921
その他	6,191	25,810
投資その他の資産合計	427,262	468,437
固定資産合計	593,358	1,008,630
資産合計	1,920,601	3,068,870

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	113,771	106,449
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	38,945	104,580
未払法人税等	929	811
賞与引当金	10,109	4,971
資産除去債務	—	1,174
その他	130,768	110,627
流動負債合計	344,523	328,613
固定負債		
長期借入金	1,186,404	1,384,960
工事補償損失引当金	45,483	40,323
資産除去債務	2,829	1,659
その他	12,901	6,424
固定負債合計	1,247,618	1,433,368
負債合計	1,592,142	1,761,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	20,000
資本剰余金	776,000	1,017,900
利益剰余金	△547,913	268,855
株主資本合計	328,086	1,306,755
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	372	132
評価・換算差額等合計	372	132
純資産合計	328,459	1,306,887
負債純資産合計	1,920,601	3,068,870

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

	(単位：千円)
	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	1,538,127
売上原価	873,807
売上総利益	664,320
販売費及び一般管理費	400,190
営業利益	264,130
営業外収益	
受取利息	85
受取配当金	588
保険金収入	611
固定資産売却益	500
その他	1,065
営業外収益合計	2,851
営業外費用	
支払利息	9,009
支払手数料	10,542
その他	20
営業外費用合計	19,571
経常利益	247,409
税引前四半期純利益	247,409
法人税、住民税及び事業税	943
法人税等調整額	△22,402
法人税等合計	△21,459
四半期純利益	268,868

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	22,442千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年4月30日付で、りそなキャピタル8号投資事業組合、株式会社脱炭素化支援機構から第三者割当増資の払込みを受けました。また、2024年6月28日付で、大和ハウスグループ共創共生1号投資事業有限責任組合、マーキュリア・サプライチェーン投資事業有限責任組合、九州電力株式会社、株式会社タスクから第三者割当増資の払込みを受けました。これらの払込みにより、資本金が354,900千円、資本準備金が354,900千円増加しました。

また、今後の機動的かつ柔軟な資本政策の実施を可能とすること、及び更なる財務体質の健全化を図り効率的な経営を推進するため、資本金及び資本準備金の額の減少(減資)並びにその他資本剰余金の処分(繰越利益剰余金の欠損填補)を実施いたしました。これにより、資本金を434,900千円減少、資本準備金を113,000千円減少し、その他資本剰余金に振り替え、その他資本剰余金547,900千円を繰越利益剰余金に振り替えております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が20,000千円、資本剰余金が1,017,900千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	SOSEI事業	CoolLaser事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,221,877	316,250	1,538,127	—	1,538,127
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,221,877	316,250	1,538,127	—	1,538,127
セグメント利益又は損失(△)	446,547	△52,197	394,349	△130,219	264,130

(注) 1. セグメント利益の調整額△130,219千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。